



「教職の魅力」を考える 8

～ 中堅教諭等資質向上研修より ～

神奈川県立総合教育センター

神奈川県立総合教育センターでは、教育人材の確保に向け、「教職の魅力」を発信しています。今回は、中堅教諭等への「教職の魅力」についてのアンケートから見える、各校種の『先生のここが魅力！』をご紹介します。

幼稚園教諭の声『先生のここが魅力！』

・子どもたちの“笑顔”や“幼稚園が楽しい”と言ってくれることです。入園当初は保護者と離れることが不安で泣いていた子やいつも“先生遊んで”“先生一緒に遊ぼう”だった子が、安心して登園し、自分の思いを表せるようになったり、友達同士の関わりが見られるようになったりしてくると成長を感じます。子どもたちの成長を一番近くで見守ることができる、また、保護者と一緒に支えることができるのは、この職ならではの楽しみです。また、子どもたちの遊びの様子から、私自身が投げかけた関わりがヒットした時には嬉しさを感じます。

・子どもたちが日々様々なことができるようになることの喜び、それを保護者の方々と共感できる幸せにやりがいを感じています。

・子どもたちと毎日過ごす中で、少しずつ関係が築いていけることです。その中で一人ひとりに合わせた関わり方をする中で、個々の育ちが現れていくことにやりがいを感じます。

・できたことに目を輝かせながら嬉しそうに話す姿を間近でみられた時や、体を動かすことが苦手だった子が自分から運動会に参加した時、「楽しかった！」と嬉しそうに言ってくれたりした時に保育のやりがいを感じます。

・行事などで子どもたちの成長を見た保護者が「先生ありがとう、楽しそうな表情を見られて感動した。この園に来て良かった。」と感謝された時、職員間でやってみようことや環境づくりなどのアイデアを出し合い、充実した保育が進められた時にやりがいを感じます。

小学校教諭の声『先生のここが魅力！』

・人の成長に一番近い仕事だと感じています。昨日できなかったことが今日できるようになる、その変化の瞬間を毎日見られるのは教職ならではの楽しみです。やりがいを感じる時は、子どもたちの「できた！」の声を聞くことができた時です。

・子どもが自分の想定を超えて主体的に学び合い探究している姿を見た時や、ノートにその子なりの学びを書き連ねている時に、大人と子どもという垣根を超えて人としてすごいなと尊敬します。そういう場面に出会えるのはこの仕事ならではの楽しみです。

・人や社会の役に立つ仕事だと思えることが魅力であり、やりがいだと思います。仕事の中心は授業を行うことですが、自分の担当する授業については、どのように教えるかを自分で考え、実践することができます。上手くいくことばかりではないですが、自分で授業を組み立てていくことが醍醐味だと思っています。

・学校で過ごす数年間で、子どもたちは教員やたくさんの児童と関わりながら人間として大きく成長します。毎年子どもたちの成長過程を近くで見守れることは、教員の大きな魅力だと思います。また、直接感謝の言葉を伝えられる機会も多く、自分が人の役に立っていることや喜びを感じやすいこともやりがいにつながります。

・どこまでも自分の力を高め続けることができること 子どもと向き合うことで人として成長できること、全国に同じ志をもった仲間がいること、人と人との繋がりを感じられること、子どもの成長に伴走できることです。

・子どもの数だけ、成長に携われるところです。十人十色で、同じ年が一度もありません。毎年違った経験ができて刺激的です。子どもや保護者と信頼関係を築けた時も、やっていてよかったと感じます。

・子どもが「できた」「わかった」と実感する瞬間に立ち会えることです。その背景には、失敗したり、悩んだり、考え直したりする時間があります。その過程ごと一緒に伴走できるのが、教師という仕事の面白さだと思っています。

中学校教諭の声『先生のここが魅力！』

・未来を担う生徒たちの「わかった！」という声を聞いたり、成長したなと感じたりする瞬間に教員をしていて良かったと思います。

・子どもたちの人生にかかわる仕事だと思っています。私たちが伝えることの1つひとつの中に、子どもたちの人格を形成していく事柄があるかもしれないと思っています。

・完成はない、常に進化し続けられることであり、今だけの結果ではなく、もっと先に答えがあること、目に見える成果以上に心で感じられるものがあることが魅力です。教師と生徒、教師と教師、教師と保護者等、たくさんのつながりがあることもやりがいです。

・私は、「人とのつながり」が教員の魅力であり、やりがいだと感じています。まず、教える側でありながらも、様々な価値観に触れることで、時にはこちらも学び、生徒からパワーを貰えるところに魅力を感じています。

・生徒が自分自身で考えを変えて目標や困難に立ち向かっていく姿を見ると、やりがいを感じます。

・生徒の成長を間近で感じられることだと思います。日々の授業や学校生活の中で、できなかったことができるようになった瞬間や、考え方が変わり成長して行く姿に立ち会えることは、教師ならではの喜びです。

・人が人の成長過程を手助けする直接的なポジションだという点に魅力を感じます。また、多感な時期だからこそ、教師側の重要性も求められますが、**チームで取り組むことでどんなことでも乗り越えられるのがこの仕事の醍醐味**だと思います。

高等学校教諭の声『先生のここが魅力！』

・生徒から「授業が分かりやすい」「数学が面白い」などと言ってもらえた時に、頑張って教材研究をして良かったとやりがいを感じます。

・良い時も悪い時も伴走し、**生徒との信頼関係が築けたと実感できる瞬間**(例えば、卒業式等で「ありがとう」と言われるなど)が訪れると、やりがいを感じます。

・教職の一番の魅力は、**一人ひとりの人生の節目に、確かな手触りで関わること**だと感じています。

・日頃教員として働く中で最も魅力を感じるのは、**子どもたちの成長を間近で見られること**です。できなかったことができるようになった瞬間や、学びに向かう姿勢が変わっていく過程に立ち会えることは、教職ならではの醍醐味だと感じています。

・子どもたちの人生に関わり、成長を実感できること、そして何より**生徒の笑顔**です。

・昨日までできなかったことが、**数ヶ月かけて自分なりの答えを見つけ出し**、その「非連続な成長」のプロセスを共有できることです。

・**同じ毎日がないこと**です。どんなにマニュアル本を読んだり、先輩方の話を聞いたりしても、相手(生徒及び保護者)は生身であり、**最後は自分の判断が問われる**ところに、自分らしく働く魅力を感じます。

・3年間担任業務をして、**卒業式を迎えた時のなんとも言えない感情が魅力**です。

特別支援学校教諭の声『先生のここが魅力！』

・生徒の成長を見られることです。**同僚教員と協力して生徒にとって魅力的な授業を作って、生徒から良い反応を得られる**ときにやりがいを感じます。

・**子どもをチームで支援し、成長を見守ることができる**ことです。また**喜びを同僚と分かち合ったり、同じ目標に向かって協力したりすることが楽しい**です。

・生徒にとって将来必要な力を身につけさせるにはどのようにアプローチすると良いのかを皆で考え、**習得した姿を見ることができた時**は、やりがいを感じると共に教員をやっている良かったと思います。

・子どもの成長を近くで見守れること、保護者に「**先生でよかった**」と言ってもらえることです。

・入学した時にはお互いの関係性ができていないが、その都度関われば関わるほど、**心を開いてくれるようになる**ところです。また、頑張っているもうまいかなかないこともたくさんあるが、**日々の積み重ねで、できることが増え、卒業時に堂々とした姿を見ることができ、感動**することです。

・**共に生きることができると実感できる毎日**にやりがいを感じます。具体的には、喜怒哀楽を共にしながら、たくさんの行事、出来事を経験し、**必要な支援により成長を応援、伴走**できることです。

・子どもたちと関わり合う中で、**同じ日々がなく、日々自分の学びに繋がっていく**ことです。

養護教諭の声『先生のここが魅力！』

・子どもたちや保護者の**声を直接聞ける立場**であること、それを**すぐに生かせる立場**であること、**自分の経験が仕事に生かせる**ことです。

・**子どもの笑顔が見られる**ところです。特に、悩んでいたことが解決されたときの**スッキリした様子が見られるとやりがい**を感じます。

・児童や職員、保護者が**元気に普通の日々を送れることを支える**ことができることです。

・**子どもたちの成長と出来るようになったことを見守れる**ことです。

自立活動教諭の声『先生のここが魅力！』

・教員へのコンサルテーションを行った結果、**よい支援ができた**と感じてもらえること、よりよい支援が入ることで、**子どもがよい方向へ変容**することです。

栄養教諭の声『先生のここが魅力！』

・児童・生徒が**育つ様子を間近で見ることができたり**、児童・生徒の**成長発達にどう関わられるか工夫することができたり**することです。また、栄養教諭として、**食に関する指導と関連付けた献立作成を工夫**することです。

・食物アレルギーへの相談対応で**保護者に理解し安心してもらえた**と感じる時や、**食べ残しの量などに良い変化が見られた**時などにやりがいを感じます。

子どもたちの未来を育みながら、自らも成長していく。 「先生」という仕事の魅力が、ここにあります。

子どもたちの「できた！」の瞬間に立ち会う。悩みながらも前に進む姿を見守る。卒業の日に交わす「ありがとう」の言葉に胸が熱くなる。今回のアンケートには、そんな先生たちの喜びや感動がたくさん詰まっていました。校種や職種は違っても、多くの先生方が語っていたのは、「子どもたちの成長を間近で見守れること」、「人とのつながりの中でともに学び合えること」、そして「誰かの人生に良い影響を与えられること」の素晴らしさでした。

教職は、子どもたちを育てる仕事であると同時に、自分自身も人として成長し続けることができる仕事です。子どもたちの笑顔や挑戦に励まされ、ときには悩みながらも、一歩ずつ未来を創っていく。そんな毎日の積み重ねが、大きなやりがいにつながっています。

このアンケートからは、人と人とのつながりの中で未来を育む、自らも成長していく教職の素晴らしさが伝わってきました。「先生」という仕事は、まさにかけがえのない仕事です。